

東京農工大学
農学部学生会
2009年度
学生大会
決議

2009年6月24日

東京農工大学 農学部学生会 執行部

説明のページ

そもそも学生会ってなんですか？→農学部生みんなが参加している、学生の自主的な組織

正式には「東京農工大学農学部学生会」といいます。学生の自主的な組織で、農学部生みんなが参加する全員加盟制組織です。つまり、農学部生みなさんの一人一人が学生会員なのです（学生会規約第1条）

学生会は何のためにあるの？→学生の活動の支援、教員・職員と並ぶ学生の代表として学生の学ぶ環境を保障・改善する

大きく分けて2つあります。ひとつは、「自主ゼミ・サークルなどの学生の自主的な活動を支援する」ためです。

もうひとつは、「学生の代表として、さまざまな要求の実現や学ぶ権利の保障を求めて、大学や政府に学生の声を届ける」ことで、「より多くの学生がより良い環境で学べるようにする」ためです。農学部学生会は、大学を構成する教員・職員と並ぶもうひとつの立場、「学生」の代表です。大学における「学生」は、高校までの「生徒」とは違います。大学をつくり運営する一員なのです。

学生会の活動内容は？→現在6つの組織に分かれて活動しています。

- 執行委員会（執行部）は、学生の選挙によって選ばれた正副執行委員長を中心に、学生会の運営全般に責任を持ちます。
- 監査委員会（監査部）は、学生の選挙によって選ばれた監査委員によって構成され、学生会の会計や活動全般の監査を担当します。
- 学生委員会は、各学科から選ばれた代表と執行部によって構成され、クラスのまとめ役や学生の願いを実現する中心になります。学生会の運営について、学生大会に次ぐ決定権があります（学生会規約19条）
- 新入生歓迎実行委員会（新歓委員会）は、新フェスやオリエンテーションを通じて、入学したばかりの新入生を歓迎する活動にとりくみます。
- 農ゼミは、農ゼミ委員会及び自主ゼミによって構成され、学生の自主的活動を応援しています。
- 学友会は、農学部内のいろいろな部活・サークル活動を支援する活動に取り組んでいます。サークル分配金の管理も行っています。

学生大会って？→学生会にとって最も大切な「みんなの声」を形にする会議

年に1回以上開かれる農学部学生会の最高議決機関で、予算の承認や学生会の1年間の活動方針を決めます。特に、大学への要求はこの学生大会で議論します。学生大会で議決された意見は、学生みんなの意見として、大学も重く受け止めてくれます。

決議って？→学生会が1年間何をやって何を求めていくのかを形にした文章

学生大会で議決されたのがこの決議です。アンケートを元に学生の声を要求や方針の形にしてあり、また当日提出された特別決議案の中で採決されたもので構成されています。

学生大会は6月24日午後行われ、農学部学生数1452人中委任740、現数36、参加60により成立しました。

第一号決議：生協の充実

<賛成 36、反対 0、保留 0>

【主文】

学生がより使いやすい生協となるよう、特に、営業時間と食事スペースの拡充を求める。

【要求】

- ・生協の営業時間延長を求める。
- ・雨の日も使用できる食事スペースを増やすよう求める。
- ・食堂のメニューの値段を下げてくれるよう求める。

【計画】

- ・生協の営業時間の延長には、夕方 17 時以降のアルバイトをしてくれる学生の確保と、経営が赤字にならない程度の安定した利用者数が必要である。生協と共に学生の実態調査をすすめ、営業時間の延長を目標に取り組む。
- ・食事スペースの確保のため、談話室や課外活動利用スペースも兼ねた総合施設として第 2 食堂ホールの建設を生協と共に大学に要請する。
- ・食堂のメニューの値下げを生協に要請する。

第二号決議：学費・奨学金の負担軽減

<賛成 36、反対 0、保留 0>

学費

【主文】

高学費により学業及び日々の生活に支障をきたしている学生は多い。その実態を告発し、全ての学生がお金の心配なく大学生活を送れるよう、大学・政府に要請する。

【計画と要求】

これ以上学費を値上げせず、値下げを行っていくよう政府に求める
運営費交付金の削減をやめ、必要な予算を保障するために抜本的増額を政府に求める
学費の値上げが行われた、もしくは行われそうな場合、農学部としてまたは農工大学として値上げに反対するよう大学に求める
学生が高学費の問題を認識できるよう、情報を広く伝える
家庭や社会に高学費の問題を訴えかける
学生をはじめとして家族や友人など多くの人から署名を集める。

奨学金

【主文】

困窮する学生を早期に救済し、学ぶ機会を保障する奨学金の制度の拡充を大学・政府に求める

【計画と要求】

奨学金制度の無利子枠を増やし、新たに給付制の奨学金制度を創立するよう政府に求める
次のいずれかの支援制度の設立を大学に求める
・大学独自の制度として年収に応じた授業料の免除制度を創設する
・大学独自の学部生向け奨学金制度を創設する

第三号決議：図書館の充実

<賛成 36、反対 0、保留 0>

【主文】

数年前に図書館の開館時間は延長され、学生にとって使いやすいものとなった。

今回はさらに、学生のニーズの多い1限目の授業前の開館と、試験期間中の日曜・祝日の臨時開館を求める。

【計画と要求】

図書館職員の方に以下の2点について交渉する。

- ・朝の開館時刻を現在の8時45分から8時30分に早めること
- ・試験期間中の日曜・祝日に開館時間を設けること

第四号決議：コピー機の充実

<賛成 36、反対 0、保留 0>

【主文】

コピー機使用料金において、学生の負担軽減を目指す。

【要求】

学業に関する資料に限り、紙を持参するだけでコピーできる専用コピー機を設置してくれるよう大学に要請する。または、新入生に対しコピーカードの配布を要請する。

【計画】

・無料コピー機の導入は、農学部のある学生の規模が小さいことからスポンサー企業が見つからないという指摘や、資源の無駄遣いであるとの学生の声もあり、無料コピー機の導入は困難と考える。そこで、上にあげた要求を大学に要請する。また、初年度だけでもコピーカードを無料配布することで、学生の負担を軽減することができ、それも要請したい

第五号決議：学内施設の充実

<賛成 36、反対 0、保留 0>

【主文】

有意義な学生生活を保障するために、学内施設の充実が必要である。

「地域貢献」を実現するため、教育面・施設面ともに開かれた東京農工大学であるよう具体的行動、かつ、動植物と接する機会が多いため、施設を衛生的にする活動の充実を要求する。

【要求】

- ・第一講義棟の男子トイレにせっけんが補充されていない。衛生上問題があるので、改善を求める。
- ・正門の鉄柱（車止め）が自転車等の交通を妨げている。また特に車椅子の出入りは不可能である。受験生および地域住民に開かれた大学であるために、鉄柱の一部撤去を求めたい。
- ・ベンチにおいては大学側及び、生協と交渉する。
- ・テニスコート脇の入り口を休日の間の開放。

【本文】

独自の調査による、現在の正門（写真左）の横幅は最大 62cm に対し、車椅子の平均幅は 60～70cm とさらに手の幅も 5～15 cm のゆとりが必要である。現在の状況では、車椅子を押してもらうなど他者の力を借りても出入りすることが不可能である。



しかし、ポスト側の鉄柱をひとつ撤去（写真右矢印）することで、幅を 1 m 確保でき、車椅子の出入りが可能になり、加えて自転車も出入りが円滑になる。また、1 m では車の進入は不可能であり、防犯上問題ないと思われる。以上から、鉄柱の一部撤去を求める。2006 年日本は国連の ADHOC 委員会の障害者権利条約に批准している。これは障害者の包括的な教育が盛り込まれており、大学はそれを尊重し、対処すべきである。

独自調査により、一講の男子トイレ、図書館のトイレは補充がされていない。清掃員の担当者に確認する。

生協前ベンチは生協の白石さんの厚意により、設置されたものである。また生協は売上金が以上の時に大学へ福利厚生のための寄付をしているが、今年は経営的に厳しいと聞いた。学生側からも生協への積極的な利用も求められた。今後の増設においては、生協側及び、大学側と交渉する必要がある。

第六号決議：学科毎の施設・カリキュラム改善

<賛成 36、反対 0、保留 0>

【主文】

各学科の教育、生活環境の改善を要求する。

【要求】

①生物生産

必修科目が五限にあることで学生の時間が圧迫される。学科長にその現状を説明しカリキュラムの改善を要請する。

②地域生態システム

学外実習が多く、実習費が自己負担であるので、学生の負担が軽減されるよう大学に要請する。

③生物生産、地域生態システム

合宿オリエンテーションに関して、宿泊をしない理由の調査。

④獣医

ヤギ当番の際、衛生面の向上のために水道の増設、シャワー室の設置を要求する。

【各学科長からの応答】

①三年次の研究室選択までに、生物生産の基礎となる授業を修了させる方針及び、他学科との合同授業の都合により、厳しいカリキュラムとなる。ただし、来年度のカリキュラムは改善され、変更の余

地のあるカリキュラムは改善できるよう検討して下さるとのこと。

②地シスに学外実習は不可欠であるので、仕方が無い部分がある。大部分の実習に個々の教員が研究費を裂いているが限界があり、大学の財政が厳しいので受益者負担をお願いしている。

現在も出来るだけ実習費を削減する努力はしている。バスをチャーターして交通費を削減している。

③（生物生産の応答）

- ・ 学内の研究室を回るというメリットを最も重視している
- ・ 以前は宿泊をしていたが、酒の持ち込みの禁を破った者がいるため宿泊施設が使えなくなった（地域生態システムの応答）
- ・ 交通費、及び宿泊費の削減のため
- ・ 宿泊をすることのメリットはない

総じて、オリエンテーション合宿は、学科のことや将来の方向付けの参考の場、SPICA 登録についての説明の場である。学生同士の親睦を深めることは各自でできるとのこと。

④現在交渉中

第七号決議：学生委員による広報

<賛成 35、反対 0、保留 1 >

【主文】

学生委員による積極的な学内情報の広報を行う。

【計画】

学費免除制度などの広報が不十分であるとの声を受け、大学側に要求するだけでなく、学生委員会自ら必要と思うもの、学内情報において大学側からの広報が不十分であると思うものは、積極的に広報していく。学生会ニュースや、学生会オリエンテーション、ホームページなどを利用してよりよい学生生活のための情報を提供したい。

第八号決議：情報システムの充実

<賛成 36、反対 0、保留 0 >

【主文】

学内情報などを気軽に閲覧できるように情報システムの充実化をもとめる。

【計画・要求】

休講情報のメーリングリスト通達システム、または SPICA における休講情報などの学内情報を気軽に閲覧できるようなシステムの確立を交渉する。

【本文】

学内の休講情報などの学内情報は、大学内でのアクセスによる SPICA や、直接掲示板にて参照しなければならない。そのため学外、もしくは学内においても気軽に学内情報を閲覧できるシステムを要求する声が多く上がっている。東京農工大学の情報システムを管理する「情報処理センター」に聞いたところ、SPICA を学外からのアクセスを可能にすることは、セキュリティー上の問題からすべきではないと判断していると回答をもらう。しかし、アンケートを見ても学外での SPICA の履修登録より、SPICA で参照できる休講情報などを気軽に閲覧できるよう求めている学生が多いのがわかる（下表）。学内情報をせめて見られるようにできないか交渉したい。学芸大学では、休講情報をその講義を履修する学生に対し、一斉送信するシステムがある。携帯でも、パソコンでもアドレスを登録することで、そのアドレスにメールが送られる。このようなシステムも農工大学でも可能ではないかと考え、情報処理センターおよび大学と交渉をしたい。

特別決議

【一号】 学祭時のゴミ処理費を大学側にも一部負担

提出者名：学園祭実行委員長 門馬悠介

<賛成 36、反対 0、保留 0>

【趣旨】

学園祭では大量のゴミがでるため、毎年一般ごみとは別に業者さん呼んで処理してもらっている。例年はそのお金を大学側と学祭委員会が負担していたが、今年からは全額学祭委員会で負担するように打診された。出来れば大学側と交渉したい。

【二号】 農場を利用した研究に対しての PR カードの設置努力義務

提出者名：小池達也

<賛成 36、反対 0、保留 0>

【趣旨】

農工大の農場は実験や研究を行う先生や学生に研究フィールドとして、用いられるだけでなく、生徒や近隣住民の散歩や自然観察の場としても活躍している。だが現在は学生においてすら、自分の携わった研究・実験のことしかわからず、他の研究装置や地区に関しては、まったく知見がないままである。

提案は研究室、学科に対して農場を使用する際には指定のレイアウトの用紙に研究内容をまとめ、それを利用している装置・地区に設置するというものである。学生にとっては自分の参加している研究以外にも農工大でどんな研究がおこなわれているか知ることが出来、学びへの好奇心が刺激される。また近隣住民にとっても農工大や植物、生物、環境問題などに興味を持ったり、身近に感じることが出来るようになる。

保留特別決議案

体育館更衣室の体育館利用者以外への開放

提出者：小池達也

<賛成 7、反対 9、保留 20.>

【趣旨】

現在農工大には更衣室シャワー室は体育館内にしか存在しない。これらは体育館を利用する生徒には一般開放されているが、着替えやシャワー利用のためには利用できないのが現状である。農場実習で汚れたりしたときや、夏場暑い中自転車通勤した生徒たちは更衣室で汚れを落としたり、着替えたりすることも出来ず授業にでるなどの活動をしなくてはならず非常に不便である。また体育館利用者のみが利用できる現在の制度も歪であると考え。更衣室はそれのみで独立した役割を果たしている。生徒であれば記名のみで更衣室を利用できるようにしてほしい。

【主な保留理由】

- ・ 不特定多数の人が更衣室を利用することにより、トラブル及び混雑が予想されるため。
- ・ 提出者本人が不在。
- ・ 本来サークル活動者、体育館利用者などの優先して利用すべき人が使えなくなる恐れがある。以上の理由で保留になった。